

東北大学 × JST-RISTEX

シチズンサポートプロジェクトによる

孤独・孤立の 一次予防

Linked Livesの枠組みによるパネル調査研究

第13回 CS講演会

JST-RISTEX
一般公開セミナー
参加無料

2025年4月17日(木)
17:00 ▶ 18:00

会場 完全オンライン
(Zoomウェビナーを予定)

定員 500名

お申し込みはこちら



※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」研究開発プロジェクトにて実施するものです。(Grant番号:JPMJRS22K3)

ライフコース研究や社会学でしばしば言及される"Linked Lives"の枠組みでは、個人は他者から影響を受けたり、あるいは他者へ影響を与えたりしながらライフコースを歩んでゆくという想定が置かれている。この想定を分析的に表現するうえで、パネル調査データの活用は有力な方法の一つである。本報告では、「他者からの影響」に関する正負の側面について、直近のパネル調査などの社会調査データを用いて検討する。また、少なくとも日本の社会調査研究では比較的手薄な「他者への影響」によるライフコースの歩み方への影響について、今後ありうる調査研究の可能性について議論したい。



東京大学社会科学研究所
附属社会調査・データアーカイブ研究センター
准教授

石田 賢示 先生

2014年3月に東北大学大学院教育学研究科博士課程後期修了(博士(教育学))。2014年4月より東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター助教。プリンストン大学、ペンシルベニア大学客員研究員等を経て、現在東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター准教授。専門は経済社会学、教育社会学、社会調査方法論。

主催: 東北大学「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」研究班
共催: 日本コミュニティー・シェッド協会

RISTEX
Research Institute of Science and Technology for Society

SOLVE for SDGs:
Preventing Social Isolation &
Loneliness and Creating
Diversified Social Networks

TOHOKU UNIVERSITY

www.tohoku.ac.jp